

よこはま緑の街づくり基金 募金趣意書

この基金は、昭和 59 (1984) 年に創設され、多くの市民、企業、各種団体の皆さまからの寄附金等を積み立て、その運用による果実（利子）で、花と緑の大切さを理解していただくイベントの実施や、市内各地の花と緑に関する団体の活動支援、活動の担い手養成などを進めています。

大都市横浜市では、山林、農地の緑が人口の急増期に大きく減少しました。近年、横浜市は、樹林地などの減少に歯止めをかけるとともに、公園など公共施設や街の中に、緑や花を増やしてきましたが、市域面積の半分をこえる民有地、市民の皆さまのお住まいの近くには、未だ十分とはいえません。

花と緑は、わたしたちにうるおいと安らぎを与える生活にかかせないものです。身近な場所に花と緑を育てていく活動は、今後、人口が減少し、超高齢社会を迎える中で、地域コミュニティづくりとしても重要な役割を果たしています。

さらに、身近な環境の花と緑による改善は、ヒートアイランド現象の緩和、都市としての気候変動問題対策、生物多様性保全の推進に貢献し、SDG s（持続可能な開発目標）の達成に近づく行動にもつながります。

本基金による事業により、市民、企業、各種団体など多様な主体の皆さまとともに、花と緑があふれる街づくりをさらに推進してまいります。どうか、この基金積み立てへのご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和 2（2020）年 7 月

公益財団法人 横浜市緑の協会

理事長 福山 一男